

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホシデン本社 2号館 新築工事	階数	地上7F
建設地	大阪府八尾市北久宝寺1丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域/第一種住居地域、準防	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年4月21日
敷地面積	12,092 m ²	作成者	森友哉
建築面積	443 m ²	確認日	2021年4月21日
延床面積	3,111 m ²	確認者	佐々木理絵



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.2
温熱環境	2.2
光・視環境	3.1
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	4.7
自然エネ	3.0
設備システ	3.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	BPI _m =0.83 BEI _m =0.73 を確保	その他 特になし
Q1 室内環境	北面の窓連より安定した採光(昼光率)を確保	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の既存建築物と調和した外観デザイン
Q2 サービス性能	事務室の天井高は2.7m以上確保し、閉鎖感が少ない空間階高4.0m以上と0.1≦壁長さ比率<0.3により空間のゆとりを確保	
LR1 エネルギー	BPI _m =0.83 BEI _m =0.73	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェック項目及び「広告物照明の扱い」の配慮事項ともに項目の過半を満たした光害対策
LR2 資源・マテリアル	擬音、節水型便器などの省水型を使用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】		建物名称	ホシデン本社 2号館 新築工事						
		建設地	大阪府八尾市北久宝寺1丁目						
		用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+		
①	CO2削減						4		
②	みどり・ヒート アイランド対策						2		
③	建物の断熱性						5		
④	エネルギー削減						3		
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.7	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.3	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									